

インフルエンザウイルスに対する消毒

対象	消毒方法	ポイント
器材 ・ 環境	80℃、10分間の 熱水 消毒(器材)	患者の飛沫、排泄物、分泌物などの湿性生体物質が付着した可能性のある局所を消毒する。 ※ 噴霧、散布消毒は 推奨しない (吸入しての健康被害やウイルスが舞い上がる可能性より)
	0.02~0.1W/V%(200~1000ppm) 次亜塩素酸ナトリウム溶液 で清拭 または30分間浸漬(環境・器材) 0.02W/V% :水 3リットルに6%濃度原液 10ミリリットル 0.1 W/V% :水 3リットルに6%濃度原液 50ミリリットル ※塩素系漂白剤の次亜塩素酸ナトリウム濃度 : 約5% =50000ppm	
	70V/V% イソプロパノール または 消毒用エタノール で清拭(環境・器材) または30分間浸漬(器材)	
手指	速乾性擦式 消毒用アルコール製剤	15秒以内に乾いてしまわない十分量の製剤を使用すること
	流水と石けんを用いて 15秒以上 洗う	